

	「人は学ぶ」	1月号
	「人は変わる」	平成31年1月22日
	「人は輝く」	発行者 惣田 修一 編集 菊池 知裕

茶 道 部

校長 惣 田 修 一

先日、茶道部の生徒達にお茶をご馳走になりました。今年度はすでに2回目です。考えてみれば、大泉中に着任して以来もう何度もご馳走になっていて感謝の気持ちでいっぱいです。その日は、3年生の模擬面接指導の最中でしたが、茶道部の2人は、校長室隣の応接室で私の時間が空くのをずっと待っていてくれて、指導中のわずかな時間の合間を縫って、お茶を点(た)ててくれました。

私が茶菓子をあわただしくいただく間に、その生徒は、茶碗に抹茶を入れ、湯を注ぎ、茶筌(ちゃせん)で抹茶と湯を混ぜ合わせ、私の前にその茶碗を置きました。本来ならもっとゆっくり行うところなのかもしれませんが、時間がなかった私の状況を憂慮してか、あっという間に点ててくれました。

一連の動作はとてなめらかで自然な感じがしました。もう何度もご馳走になっているにもかかわらず、茶道の心得のない私は、その生徒に「確かこんな風に回してから飲むんだっよね」と言いながら、お茶をいただきました。そして言いました。「おいしい。ありがとう。」お世辞じゃなく本当にそう思いました。その間の2人は終始笑顔で私の表情を見ていました。



その「おいしい」は、単に味おいしい、ということだけではありませんでした。わざわざ私の時間が空くのをずっと待っていてくれて、応接室にあわただしく入ってきた私の様子から、わずかな時間しかないという状況を一瞬に感じとって、最大限のスピードでお茶をご馳走してくれたその気配り「おもてなし」の心がとてもよく伝わってきたからです。うまく言えないけれど、そのお茶は、心のこもったあたたかみのあるおいしさだったのです。

実を言うと、茶道部はいつも待っていてくれるのです。前回は出張から帰ってくる私のことを寒い廊下で待っていてくれました。私は申し訳なくて、でも嬉しくて、校長室に3人の茶道部の生徒を招き入れてお茶をいただきました。その時も、同じおいしさを感じました。味だけではなく、そこにいたるまでの「おもてなし」の心が、豊かなおいしさを引き立てるのです。

茶道の「おもてなし」にちょっと興味をもって、ある言葉に出会いました。「出迎え三步 見送り七歩」です。お客様をお出迎えするときは、三步前に出て中に招き入れ、お送りするときは、来てくださったことへの感謝の言葉をかけつつ、七歩外に出て(姿が見えなくなるまで)お送りするという意味です。さらに調べてみると次の文を見つけました。ここには日本流の奥深いホスピタリティーがあります。

「茶の席を設ける主人が客を招きます。その時刻になると主人は家の門前に立ってじっと待っている。向こうから客がやってくる。出迎え三步の心得です。やがて、茶を服し茶の湯の席が果てます。客を送ってまた外に出る。にじり口(茶室の出入り口)を通過して、門口まで送っていきます。またそこで軽く挨拶を交わして、客は背中を見せて去っていきます。主人はその姿が見えなくなるまで見ている。見送り七歩の情景です。問題は、その後の茶の湯の第二幕です。客が去って行って姿が見えなくなった段階で、その主人は再び茶室に戻ってきて一人で座ります。これが独座です。そして一人で湯を点てて、それを一人で服(ふく)します。これが独服(どくふく)です。その独座する時間の間ずっと、今去っていった人のことを思い続けるのです。日本語の『もてなす』ということの本当の意味は、人との出会いが終わった瞬間に始まる『また来ていただきたい』という思いにあるのです。」

私は、この情景を思い浮かべ、胸がどきどきしました。私達日本人の心の奥深さにまともに出会ったような気がしたからです。

朝の通勤時、西武池袋線の石神井公園駅から大泉学園駅までの区間に見える富士山がとても楽しみな季節になりました。今年もよろしくお願いします。

練馬区中学校生徒作品展

1月12日(土)～16日(水)、練馬区立美術館で生徒作品展が開催されました。本校からは、以下の生徒の作品が出品されました。

<美術科>

1年生 色彩のデザイン 鳥居和佳奈 工藤ひかり 高橋美向 町田奈璃 桑原琉衣
宮西聡史 五十嵐結良 小林綾美 葉梨結衣

2年生 絵文字 石川悠人 佐藤舞紘 田中勝大 鎌谷奏翔 清水悠貴 守田望実
加納 琉生 清水優真
木彫お盆 佐藤舞紘 寺田光希 別所杏音 小室和歌 渡部真衣 山岸海斗
清水悠貴 松本成未

3年生 マイミラー 秋田谷恵志郎 吉山賢次郎 作間星 濱田裕太 岡田茜音
梶木望衣璃 菊池ほのか 菊池優愛 本間きらら 炭谷乃愛
山崎梓 熱田翼 奥村華 田中あり紗 岩波ゆきの 小島楓華
高城美久 西川真由 横山さくら 鈴木彪 筑間翔己 奥平小雪
鈴木葵 原希衣子 菅野凜 鈴木佑菜

選挙ポスター 2年生 前川彩織 高橋怜奈 3年生 高城美久

<家庭科>

2年生 コミュニケーションボード 田中勝大 内堀香穂 石川陽汰 伏守千夏
阿部真佳 粉江華三 筒井裕也 島上樂々 岩柳めい 渡辺そあら 林雄太
平井凜太郎

3年生 おなまえワッペン 吉山賢次郎 浅見栞里 浅利加奈子 有門里菜 江良奈那美
小林雪乃 田中優里 大和茉彩 阪亮太 野口直暉 濱田裕太 市川珠莉
菊池優愛 小寺沙和 福田花菜香 本間きらら 西村郁哉 前田怜音
炭谷乃愛 西本凜子 米田実 松井彩夏 桃井優花 山崎梓 岩楯拓透
奥村華 尾崎日南 坂元颯希 末永愛莉 高澤りな 田中あり紗 中島靖葉
今井経太 金子恭二郎 笹木大史 小島楓華 西川真由 山部佳香 横塚梨瑚
横山さくら 大塚俊孝 筑間翔己 浅野琴璃 市橋梨蓉 岡田愛未 川上萌華
原希衣子 遊佐菜々美 浅田和毅 岩柳凜 右近若葉 菅野凜 長井未空
守安くるみ 山崎由衣名 山室唯

<技術科>

3年生 オリジナルカラビナ 秋田谷恵志郎 宮田千詩 吉山賢次郎 浅見栞里
入來隆成 浦矢健太 河田優太 小寺沙和 柿原爽人 西本凜子 松井彩夏
山崎梓 熱田翼 上林果奈 奥村華 田中あり紗 今井経太 金子恭二郎
ブレア玲 山部佳香 大塚俊孝 鈴木希海 鈴木葵 原希衣子 佐藤祥大
水澤可胤 菅野凜 守安くるみ

特別支援学級(10組)

<美術科><技術科><家庭科>の作品



頑張る!! 大泉中生 ~部活動・その他の活動の記録~

テニス部 ・東京都中学校テニス第3ブロック新進テニス選手権大会
男子ダブルス 第3位 角田虎太郎 野村嘉那

吹奏楽部 ・第4回東京吹奏楽コンクール 新人戦 金賞

明るい選挙啓発 ・東京都優秀作品 本間きらら(3-2)
ポスターコンクール ・入選 福田花菜香(3-2) 菅野凜(3-7) 半澤萌菜(2-1) 森真子(2-3)
伊豆愛美(2-5) 渡辺そあら(2-5) 川村心愛(2-6)

平成30年度 練馬区生徒表彰

・団体表彰

男子体操部
女子ソフトボール部
男子バドミントン部

・個人表彰

中村遥空(1-3)紙飛行機で優秀な成績
樋田律人(1-5)ピアノで優秀な成績
尾崎日南(3-4)折り紙で優秀な成績
岡本楓加(3-1)ピアノで優秀な成績
藤井乙葉(3-6)水泳で優秀な成績



練馬区中学校 生徒作品展 見学

1月12日(土)、雪がちらつく寒い日でしたが、10組は電車に乗って中村橋の練馬立美術館に生徒作品展の見学に出掛けました。自分たちの作品だけでなく、いろいろな中学校の生徒たちの作品をじっくりと鑑賞することができました。



百人一首大会を終えて

一学年 鈴木 俊太郎

新年を迎え、3学期が始まって間もない1月12日(土)、第一学年による百人一首大会が行われました。当日は予報通り大変冷え込み、アリーナにいても手がかじかむほどの厳しい寒さでした。しかし、実行委員長の大豆生田様や副実行委員長の大矢蓮弓さんが開会式・閉会式で話したように、そんな寒さも忘れるくらいの歴史に名を刻む熱い大会になりました。

大泉中において、ここ数年来なかった学年行事としての百人一首大会。総勢14名の実行委員はそんなプレッシャーを感じながらも、百人一首大会を盛り上げるために一生懸命活動してくれました。総勢4200枚もの取り札を一枚一枚確認するところから始まり、大会のポスターやクイズラリー、廊下や大会会場に掲示した半紙を冬休みに書いてくるなど、限られた時間の中でも彼らが楽しみながら準備に励む姿が印象的でした。



そういったわずか14名の熱意が251名の心を確実に熱くさせたこと、それが大会の様子からも強く感じられたことを大変嬉しく思います。「ちはやぶる」、その一言が詠まれたときのあの響き渡る歓声。授業でもふられた一字決まりの「む」「す」「め」「ふ」「さ」「ほ」「せ」、その一言にかけあふれる爆発的な熱量。何かに全力で打ち込むことの楽しさ、格好良さが一学年全体をはじめ、参観していただいた多くの方々にも伝わったのでは

ないかと思えます。

今回のこの百人一首大会という新たな取り組みで感じた学年の「輪」を、鎌倉校外学習というまた新たな取り組みの中で十二分に活かしてくれることを心より期待したいと思えます。

当日は数多くの保護者の皆さまにご参観いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



インフルエンザ感染予防を!!

東京都福祉保健局から、インフルエンザの流行警報発表がありました。都内公立学校において、今シーズン(平成30年9月3日以降)に入り平成31年第2週(1月7日から1月13日まで)までに、227校のインフルエンザ様疾患による臨時休業報告があったという状況です。

本校でも先週、3年生の2クラスで学級閉鎖を行い、感染拡大予防を図っております。また、登校時及び給食前の手指消毒や休み時間、授業中の換気、加湿等の対策を実施しています。

今後、3年生は受験本番、2年生はスキー移動教室、1年生は校外学習という大きな行事を控えています。ご家庭でも、手洗いうがいの励行、十分な睡眠時間の確保等を心掛けていただきますようお願いいたします。また、体調が優れないときには、無理に登校することのないようお願いいたします。

急遽授業を切り上げる措置をとる場合や、早めに早退させる場合もあります。緊急時に保護者の方に確実に連絡がつけられるよう、また、家の鍵の管理等をお子様と確認しておくようにしてください。お願いいたします。